


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**フロントスポイラー**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー-N-200を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。)ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf/cm²以上)
- 重要** ■フロントスポイラー下面のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に**圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

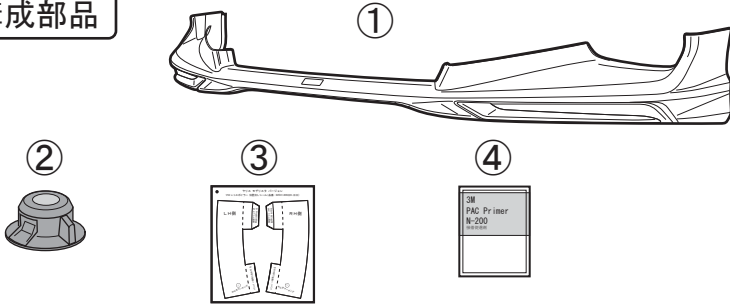
 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ヤリス モデルスタ バージョン

フロントスポイラー

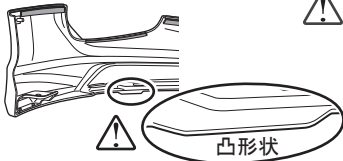
(品番 : D2531-60910-XX フォグランプ 装着車)
 (品番 : MSD41-52011/2-XX フォグランプ 装着車)
 (品番 : D2531-60920-XX フォグランプ 非装着車)
 (品番 : MSD41-52013/4-XX フォグランプ 非装着車)

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	2
③	位置出しシール	1
④	PACプライマーN-200	1

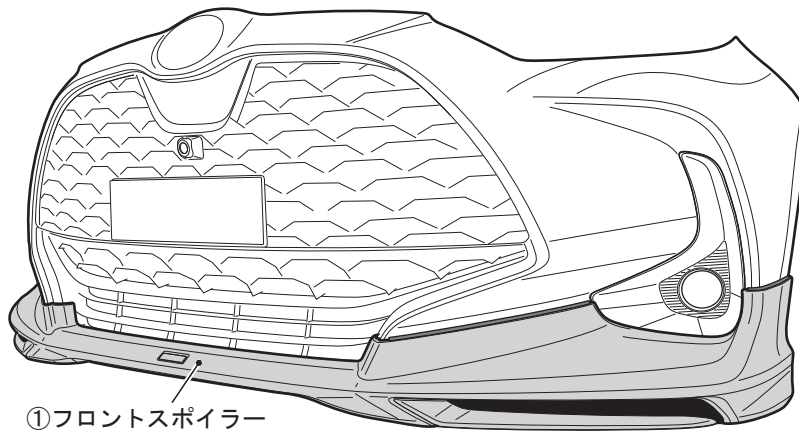
LH側 裏面図示



⚠ フォグランプ装着車用は図の箇所が凸形状になっています。(左右共)
 非装着車用は凸形状がありません。

以下の[作業手順]はフォグランプ装着車で図示してありますが
 非装着車も同様の作業を行なって下さい。

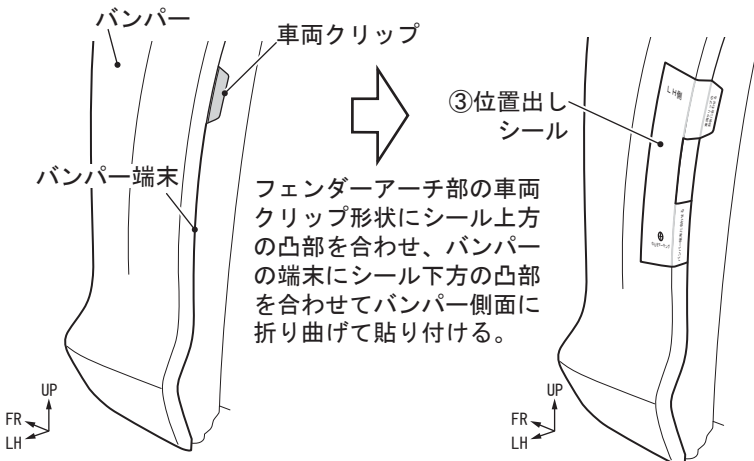
取付概要



取付手順

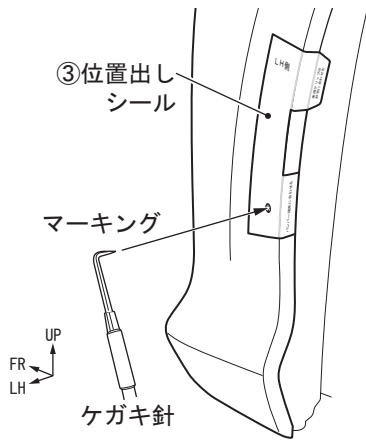
(1) 仮組とプライマー塗布

LH図示 ※RHも同様に

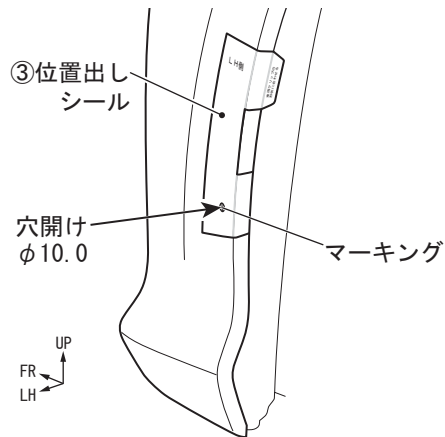
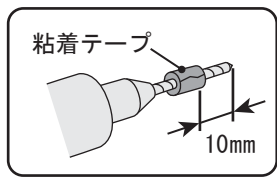


フェンダーアーチ部の車両クリップ形状にシール上方の凸部を合わせ、バンパーの末端にシール下方の凸部を合わせてバンパー側面に折り曲げて貼り付ける。

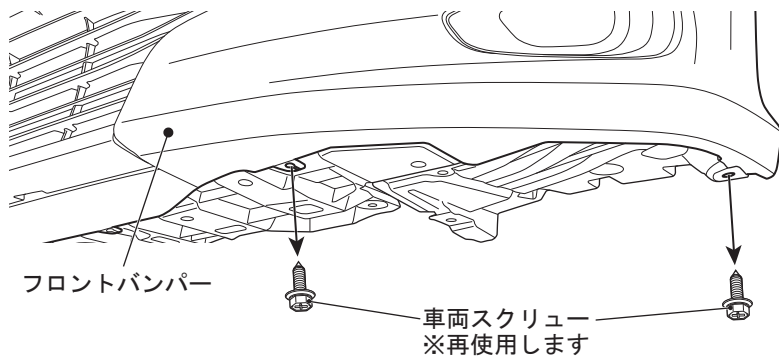
1. フロントバンパー側面に穴を開ける為、フロントバンパーフェンダーアーチ部の車両クリップ及びフロントバンパー末端に位置を合わせて③位置出しシールを貼り付ける。
 (左図参照) (左右各1カ所)



LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に



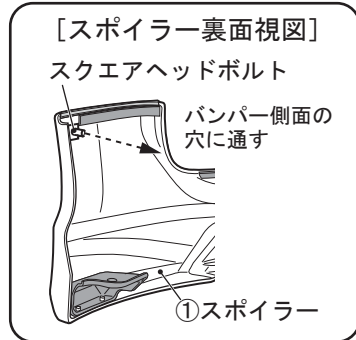
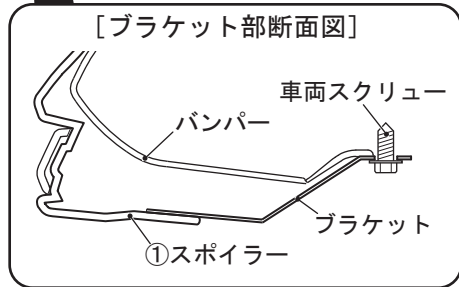
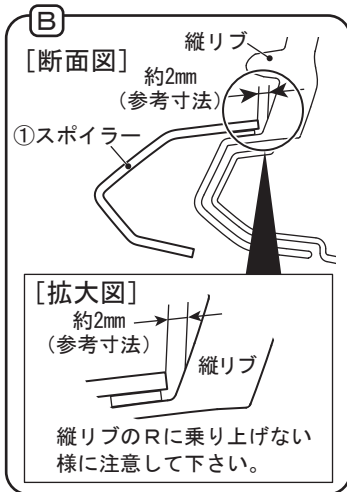
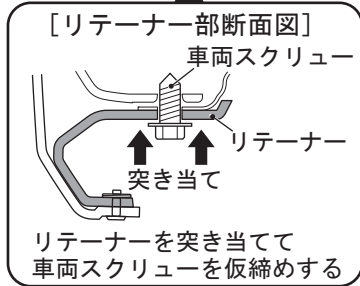
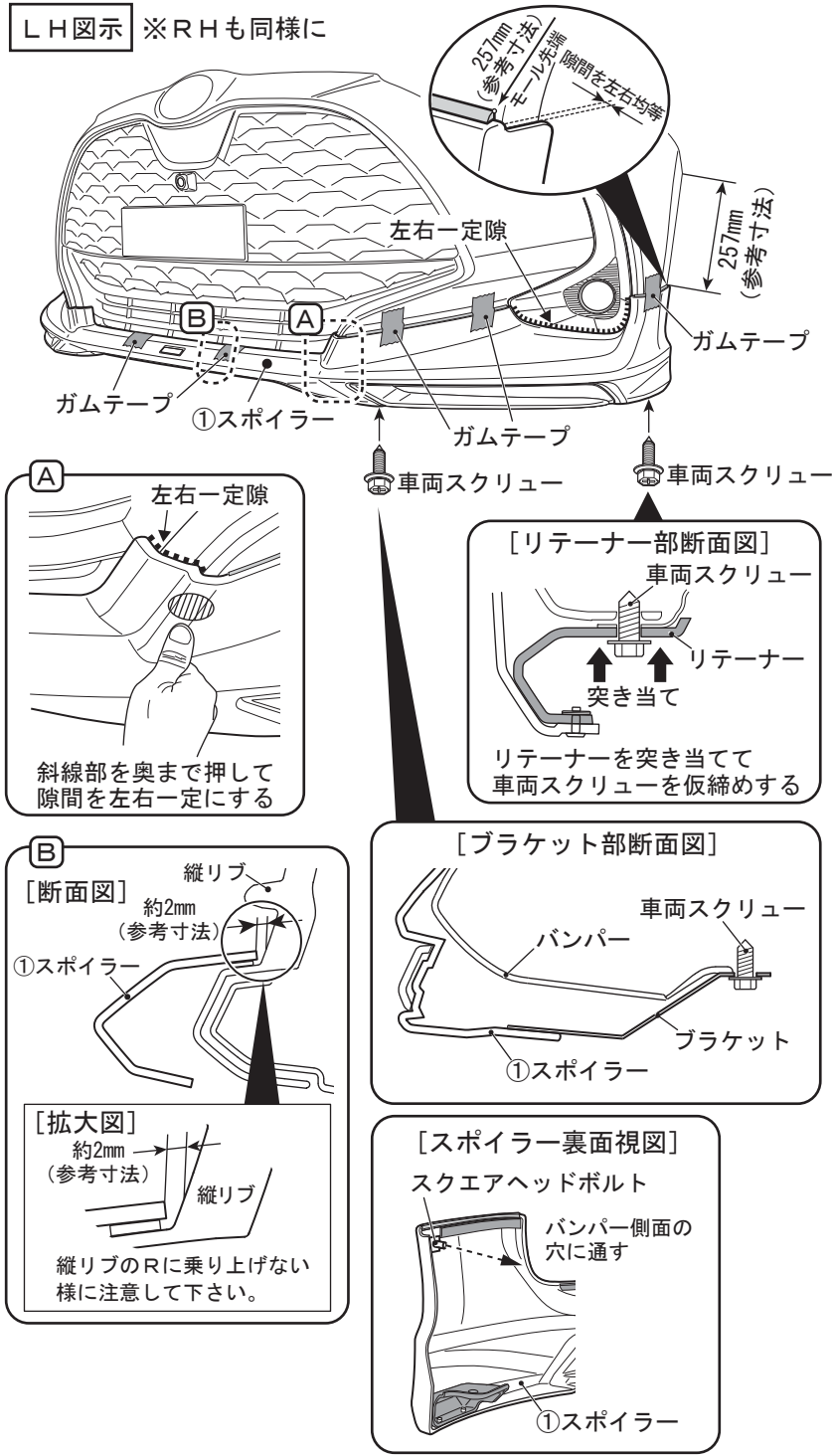
- ③位置出しシールの穴開け位置にケガキ針等でマーキングする。
(左図参照) (左右各1カ所)

アドバイス

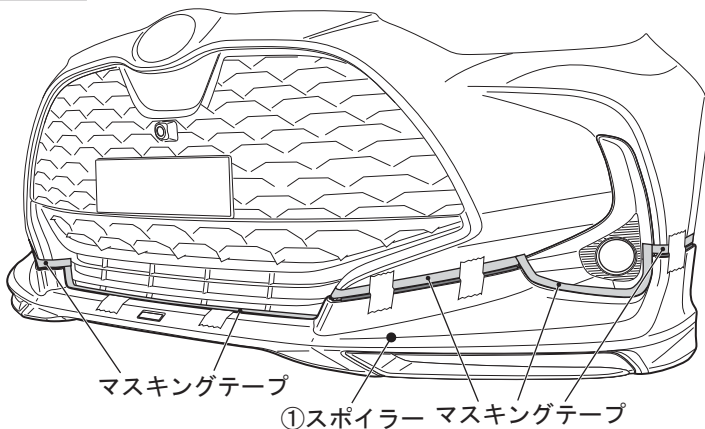
位置出しシールの穴開け位置中心にマーキングしてください。

- マーキングに合わせてφ3.0→φ6.0→φ10.0の順でフロントバンパー側面に穴を開ける。
(左図参照) (左右各1カ所)
※穴開けの際、ドリルの刃にストッパーとなるように粘着テープを巻き付ける。
- ③位置出しシールを剥がし、穴周囲のバリを除去する。(左右各1カ所)
- 車両下面図示部の車両スクリューを取り外す。(左右各2カ所)

LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に

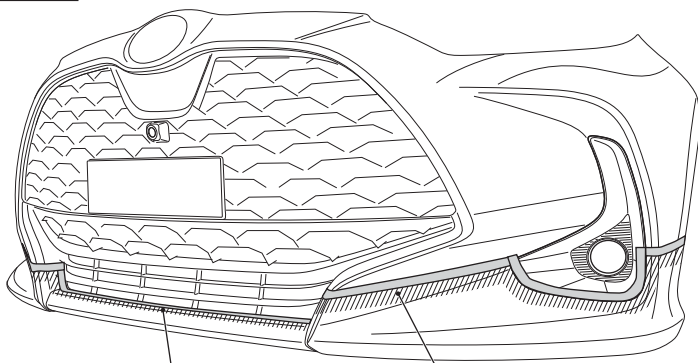


- ①フロントスポイラー（以下スポイラーと省略）をフロントバンパー中央に合わせ、左右内側のスクエアヘッドボルトをバンパー側面に開けた穴に通してバンパーにかぶせ（スポイラー裏面視図参照）、下面リテーナーをバンパーに押し当てて（リテーナー部断面図参照）車両スクリーンで仮締めする。（左図参照）

! 車両に傷が付かない様に注意して下さい。

- ホイールアーチ部のバンパー先端とモール上端と寸法が257mm（参考寸法）になっていることを確認する。（左図参照）
- ①スポイラーの図示部（A図参照）を奥まで押し当てて隙間を左右一定にしながらロアグリル中央の縦リブとの隙間（B図参照）を約2mm（参考寸法）確保する。
- フロントバンパー左右ロアグリル部の隙間が左右一定になっていることを確認し、ガムテープ等で仮固定する。（左図参照）
- ①スポイラーのモール先端に合わせ、マスキングテープを貼り付ける。（左図参照）
- ①スポイラーを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に



脱脂及び④PACプライマー-N-200塗布範囲
(斜線部 約30mm均等幅)

12. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) を脱脂する。

13. 両面テープ貼り付け部 (左図斜線部) に④PACプライマー-N-200を塗布する。

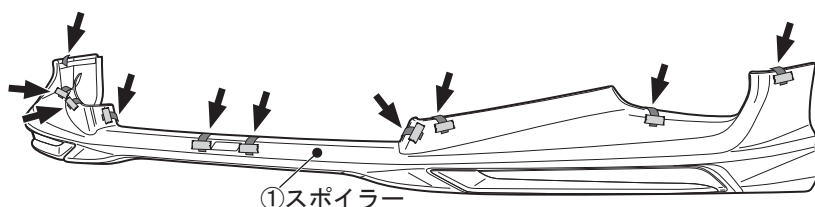


アドバイス

- ④PACプライマー-N-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ④PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

14. マスキングテープを剥がす。

(2) 取付準備

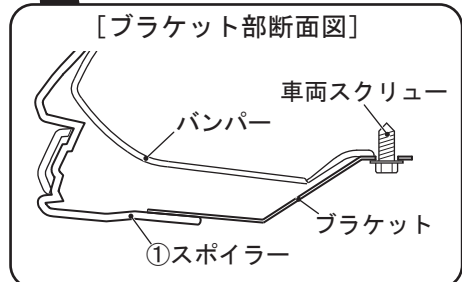
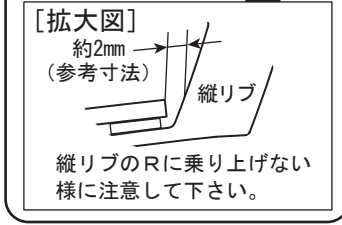
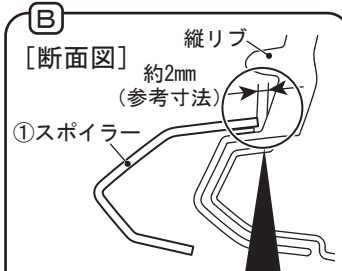
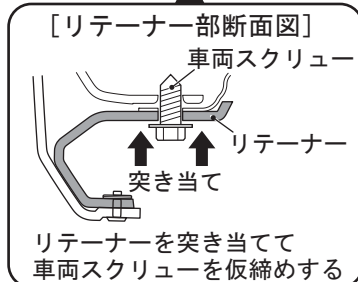
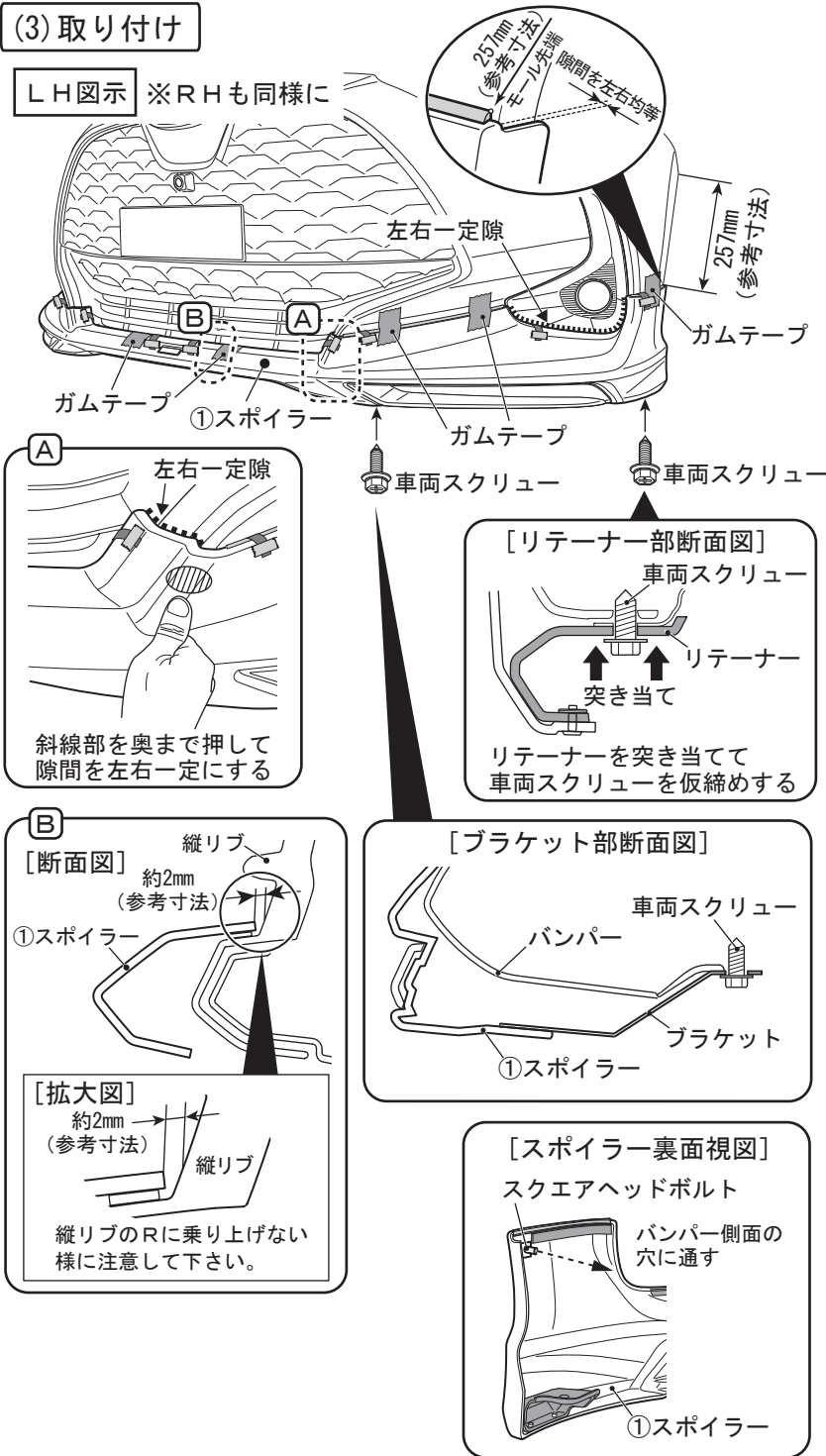


1. ①スポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(左図参照、10カ所)

(3) 取り付け

LH図示 ※RHも同様に



- ①スポイラーをフロントバンパー中央に合わせ、左右内側のスクエアヘッドボルトをバンパー側面に開けた穴に通してバンパーにかぶせ (スポイラー裏面視図参照)、下面リテーナーをバンパーに押し当てて (リテーナー一部断面図参照) 車両スクリューで仮締めする。
(左図参照)

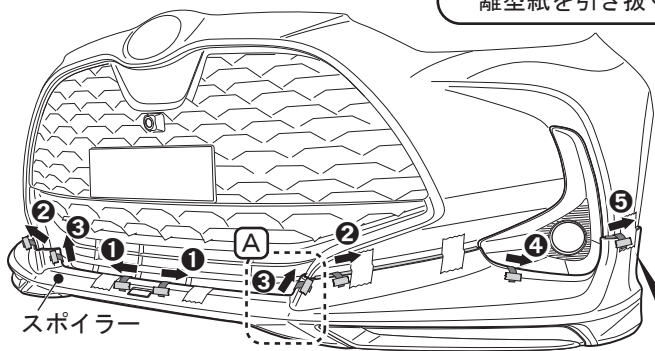
! 車両に傷が付かない様に注意して下さい。

- ホイールアーチ部のバンパー先端とモール上端と寸法が257mm (参考寸法) になっていることを確認する。
(左図参照) (左図参照)
- ①スポイラーの図示部 (A図参照) を奥まで押し当てて隙間を左右一定にしながらロアグリル中央の縦リブとの隙間 (B図参照) を約2mm (参考寸法) 確保する。
- フロントバンパー左右ロアグリル部の隙間が左右一定になっていることを確認し、ガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)

LH図示 ※RHも同様に

※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）

重要 ①②を引き抜く際は、(A)図斜線部を押しながらかき抜いて下さい。



5. 左右のバランス、隙、ズレが無い事、
 (A)部の左右一定隙を確認し、左図斜線部
 (A)図参照)を押しながらかき①②③④
 の順で両面テープ離型紙を矢印の方向
 に引き抜き、圧着する。(左図参照)

※離型紙を引き抜く際に①スポイラーの
 取り付け高さ、隙間が変わらない様に
 注意して下さい。

6. フェンダーライナーを一部めくり、バンパー裏側から②クリップナットを取り付けて奥まで差し込み、締め込む。
 (スポイラー裏面視図参照)

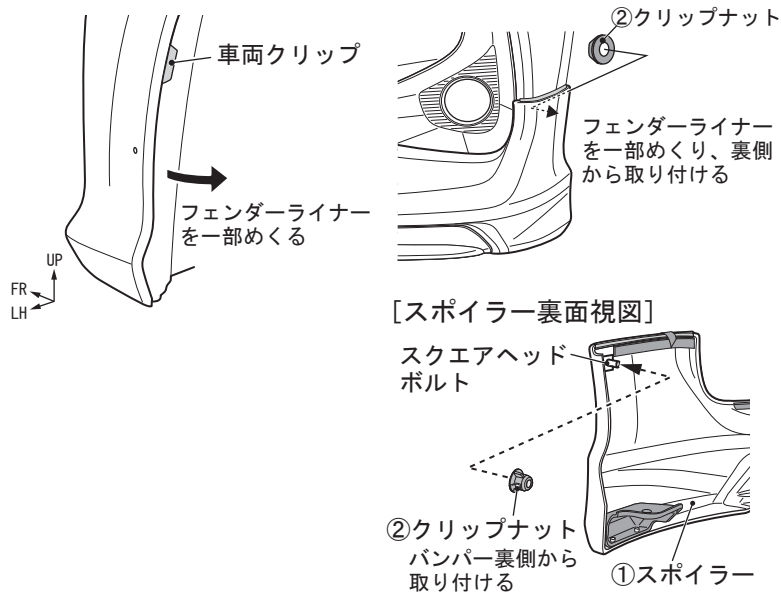
⑤の両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜きバンパーを保持して圧着する。
 (片側からの圧着ではバンパーが逃げた
 しまい、十分な圧着が出来ません。)

フェンダーライナーを元に戻す。

7. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

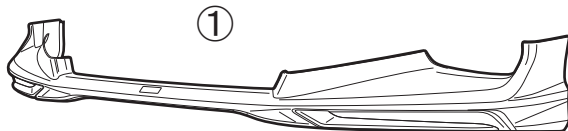
8. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。
 (下面4カ所)

! 車両に傷が付かない様に注意して下さい。

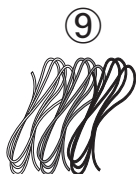
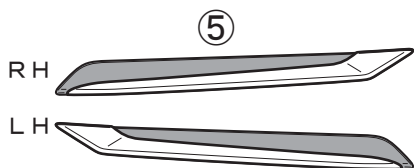
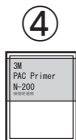
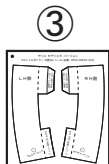


フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



※：⑤メッキパーツ、⑥Bタッピングスクリュー、⑦Uナットは、①フロントスポイラーに仮固定されています。塗装前に外してください。塗装後に取り付けるため、紛失に注意してください。



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	クリップナット	2
③	位置出しシール	1
④	PACプライマーN-200	1
※⑤	メッキパーツRH/LH	左右各1
※⑥	Bタッピングスクリュー(M4×12)	4
※⑦	Uナット(M4)	4
⑧	エンブレム	1
⑨	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

⑨エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1L0	シルバーメタリック	グレー
1L6	マッシュグレー	ブラック
202	ブラック	ブラック
3R9	ボルドーマイカメタリック	ブラック
3T3	センシュアルレッドマイカ	ブラック
3U6	アイスピンクメタリック	グレー
3U7	コーラルクリスタルシャイン	ブラック
4V8	アパングヤルドブロンズメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	ブラック
8W7	ダークブルーマイカメタリック	ブラック
8W9	シアンメタリック	ブラック

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

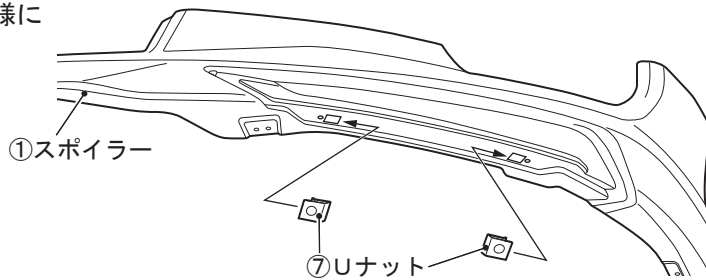
※本製品の素材は<ABS>です。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

メッキパーツの取り付け作業

1. 塗装完了後、①スポイラーに⑦Uナットを差し込む。(左右各2カ所 計4カ所)

LH図示 ※RHも同様に



[断面図]

⑦Uナット

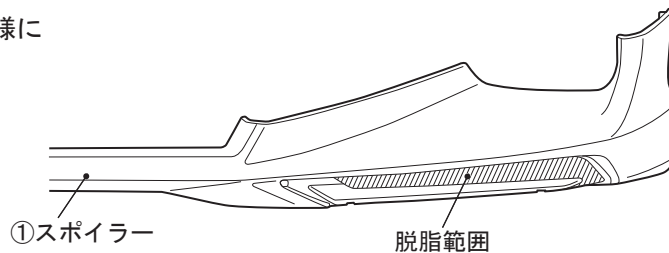
※向きに注意 ↓が平ら面側



2. ①スポイラーと⑤メッキパーツの両面テープ貼り付け位置と形状を確認する。

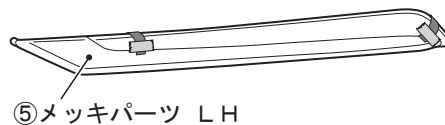
3. ①スポイラー(下図斜線部)の汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除き、脱脂する。

LH図示 ※RHも同様に



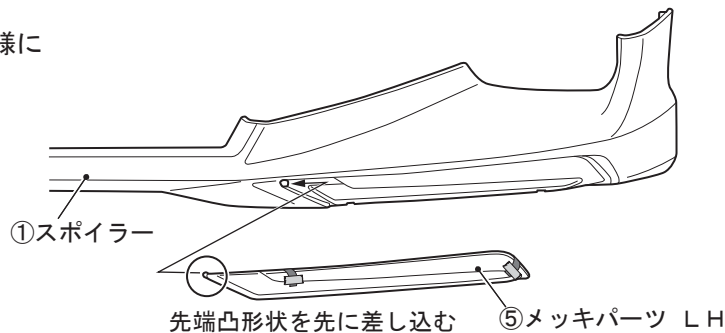
4. ⑤メッキパーツの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(左右各2カ所 計4カ所)

LH図示 ※RHも同様に



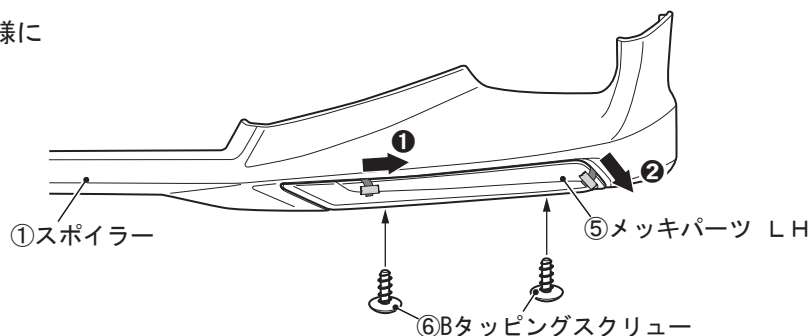
5. ⑤メッキパーツの車両外側先端凸形状を先に①スポイラーの穴に差し込み、①スポイラーの形状に合わせて被せる。

LH図示 ※RHも同様に



6. ⑤メッキパーツ下面の穴位置に合わせて⑥Bタッピングスクリューで仮締めし、周囲の隙間が一定になる様に位置を決め、左右のズレがない事を確認してから①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、表と裏から圧着する。

LH図示 ※RHも同様に

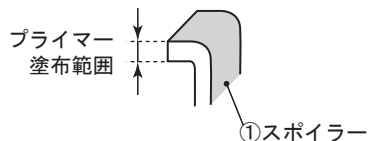


7. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めに本締めする。(左右各2カ所 計4カ所)

エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑨エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、④PACプライマー-N-200を塗布する。

PACプライマー-N-200塗布範囲



アドバイス

- ④PACプライマー-N-200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ④PACプライマー-N-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出したプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取って下さい。
- ④PACプライマー-N-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑨エンドモールを貼り付ける。

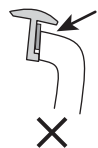
アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

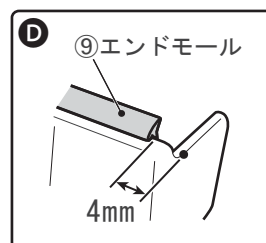
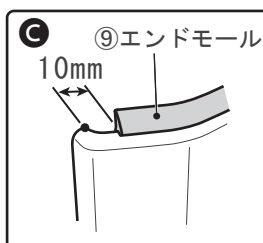
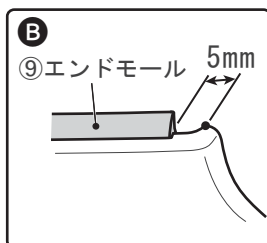
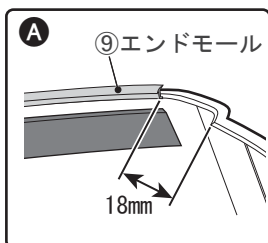
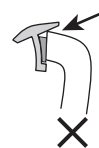
奥まで押し込む



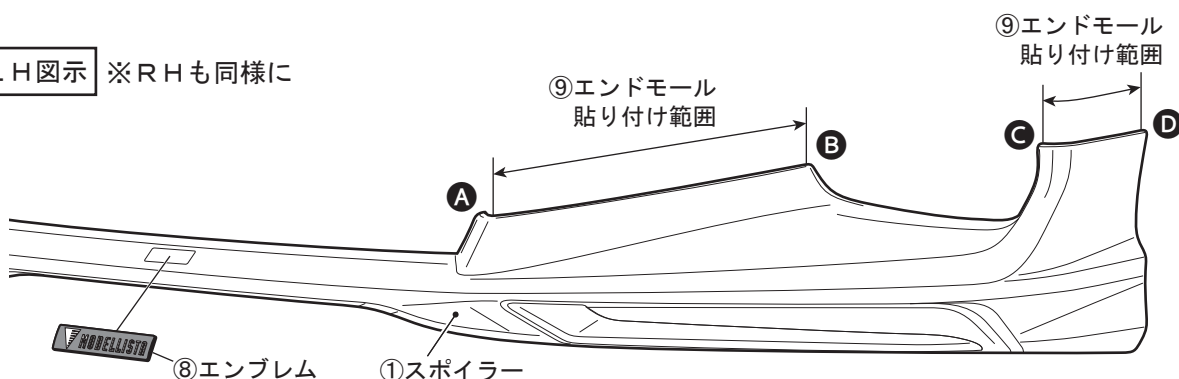
隙間が空いている



傾いている



LH図示 ※RHも同様に

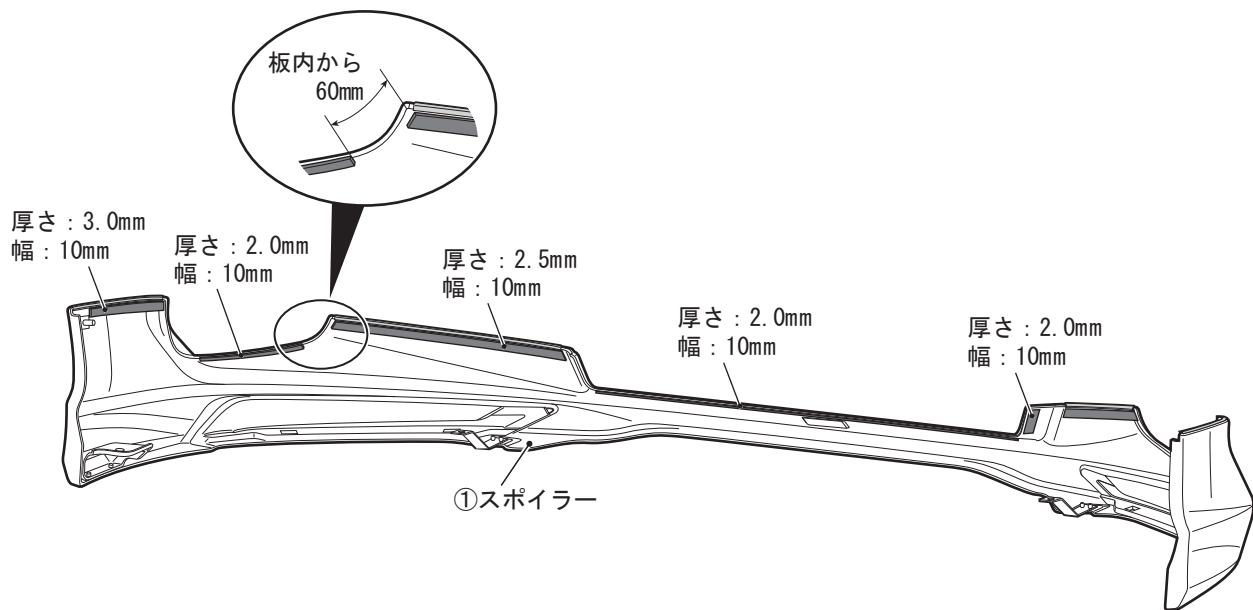


3. ①スポイラー中央のエンブレム貼り付け部を脱脂し、⑧エンブレムを貼り付ける。

補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①スポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。（元の位置と同様に貼り付けて下さい。）

LH図示 ※RHも同様に



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

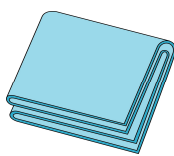


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

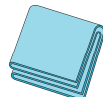
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



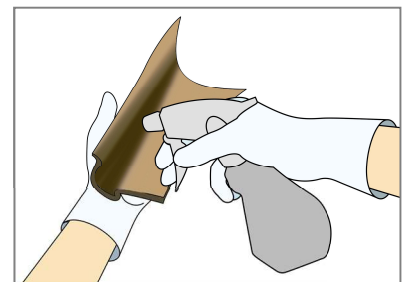
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

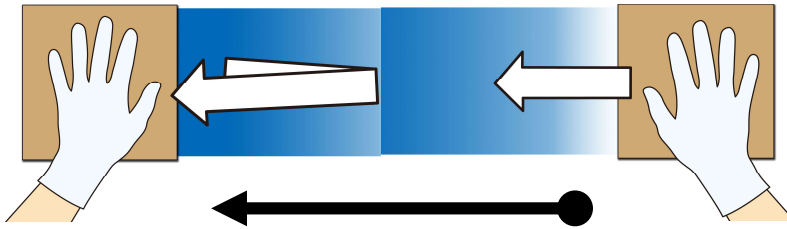
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

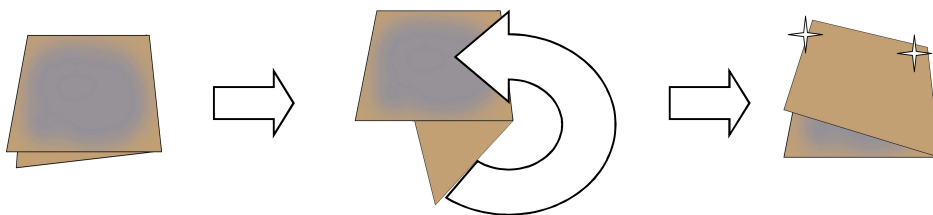
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。